

社会福祉法人 芙蓉の家 平成30年度 事業報告書(案)

平成30年度におきまして、当法人が実施いたしました事業実施の概要は次の通りでありましたので御報告致します。

1. 運営

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

- (イ) 障害福祉サービス事業の経営 (就労継続B型 松永作業所)
(就労継続B型 徳島作業所)
(共同生活援助 びすけっと)

(ロ) 特定相談支援事業の経営 (さぼーと)

(ハ) 老人デイサービス事業の経営 (さぼーと、みらくる)

(2) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業 (さぼーと)

(3) 収益を目的とする事業

(イ) 自立支援型共生ホーム (さぼーと) の設置経営

2. 事業計画の実施状況

A. 法人全体としての取り組み

①情報公開 (継続事業)

機関紙を1・5・9月に発行しました。7月号はわいわいフェスタ中止のためこの度は発行を見送りました。ホームページも状況にあった一部修正を行いました。トピックスとして各事業所の決算書・行事・イベント等を掲載し、その都度公開しました。

②法令順守 (継続事業)

年度終わりに、法や制度等を守ることの重要性やそれが適正かつ信頼のおける事業運営に繋がっていくことの勉強会を職員全体会議の中で実施する予定でしたが、時間の関係で実施することが残念ながらできなかった。ただ、ことあるごとに運営責任者等には伝えるようにはしていた。

③規程の見直しと制定

就業規則、給与規程、資格取得報奨金制度、処遇改善手当加算支給要綱等の一部改正をおこないました。各規程とも職員に周知をするように努め、各規程等に沿って適正に運用することができました。

④自主的内部検査（継続事業）

平成30年度は11月の第四月曜日（予定）に松永作業所の利用者を対象とし、福祉サービス第三者評価表（サービス編：障害分野 利用者版）を使用し、確認・検査を実施する予定でした。しかし、業務の都合により実施ができなかった。

⑤人材確保

職員2名を担当にして、学校主催の求人説明会や社会福祉協議会主催の合同求人説明会へ積極的に参加し、新卒者の人材確保に努めてきました。なかなか結果がでてきません。

人材確保については人材紹介会社等に依存しているのが現状で、ギリギリのところでは何とか人数がそろっている状況です。

B. 各事業所の取り組み

①4S（整理・整頓・清掃・清潔）運動

11月を4S運動月間とし随分と定着化してきた。各事業所で4Sチェック表をもとに大掃除を行いました。全職員真剣に取り組んでいただき、整理整頓も含め環境整備を行うことができました。

②職員の資質向上

平成29年度に介護福祉士のライセンスを取得した職員に対して、平成30年度は給与規程等に沿った経済的な支援と人事考課の評価対象にもしました。

また、国家資格が「最低限の専門性」と考え、平成30年度は1名が介護福祉士を受験し合格しました。資格取得に対して報奨金も支給しました。

施設外の研修については、研修資料を回覧し受講希望者については参加の支援を行った。

③収支の確認

事業所を安定運営していくための収支バランスの検証は重要だと考え、職員対象にも情報公開を進めていく予定でした。しかし、管理者等にはリアルに年度中期より資金収支計算書等にて収支確認を実施したが、全職員に対して具体的

に説明をして、現状の理解を促していくところまではいたっていなかった。今後は職員にも情報公開を進めていくべきである。

C. 施設整備事業と修繕事業

①障害者グループホームの整備

福山市より2020年度グループホーム整備法人の募集があり応募した。面接審査(2018年12月)を受け63点中53点(選定基準点46点以上)を取り、福山市の審査は通った。この整備は国庫補助金が出るので国の最終審査を受けるべくして、2019年3月初旬に福山市へ最終の書類提出を行った。令和元年6月下旬には国の最終審査結果が出る予定である。国の審査が通った暁には、予定通り社会福祉充実残額を使用して施設整備を実施したい。

②松永作業所の照明器具の取り換え工事の実施

厨房の老朽化による水漏れにより、厨房給水給湯配管替工事(225,720円)を行った。そのため、当初予定していた作業室や事務所など頻繁に照明器具を点灯させるところのLEDへの照明器具交換工事を見送らざるおえなくなった。今後は老朽化の問題を頭の中に入れて計画を立てていく必要がある。

③自立支援型共生ホームさぼーとの改修工事

デイサービスセンターみらくるの広島銀行からの借入金(元金14,600,000円と手数料583,247円)を一括返済したため、自立支援型共生ホームさぼーとの会計より2,000,000円を負担した。よって、当初予定していた、床カーペットや壁等のリニューアル化を見送らせていただいた。

3. 運営の実施状況

(1) 理事会

①日時 2018年 6月11日 午前10時00分 ~ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

○第1号議案 平成29年度本部・施設(松永作業所・徳島作業所)・居宅介護支援事業・通所介護事業(さぼーと・みらくる)・自立支援型共生ホーム・相談支援事業・共同生活援助事業の事業報告書(案)と平成29年度法人全体・事業区分(社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分)・拠点区分(法人本部拠点区分・高齢拠点区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分)の財産目録

(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)と社会福祉充実残額の変更について

- 第2号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 給与規程と資金運用規程、パートタイマー就業規則等の一部改正等について

②日時 2018年12月17日 午前10時00分 ~ 午前10時30分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 福山市の共同生活援助整備補助事業の審査結果について
- 第2号議案 社会福祉充実計画の終了と新社会福祉充実計画の作成について
- 第3号議案 インフルエンザワクチン接種補助規程の一部改正について
- 第4号議案 平成30年7月豪雨災害に係る義援金の支出について

③日時 2019年 3月 4日 午前10時00分 ~ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 2018年度の補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 2019年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認について
- 第3号議案 人事異動について
- 第4号議案 処遇改善手当加算支給要綱と給与規程の第23条の一部改正について
- 第5号議案 評議員会の招集について

(2) 評議員会

①日時 2018年 6月25日 午前10時00分 ~ 午前11時30分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

評議員総数7人 内 7名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 平成29年度本部・施設(松永作業所・徳島作業所)・居宅介護支援事業・通所介護事業(さぼと・みらくる)・自立支援型共生ホーム・相談支援事業・共同生活援助事業の事業報告書(案)と平成29年度法人全体・事業区分(社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分)・拠点区分(法人本部拠点区分・高齢拠点

区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分)の財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)の承認また社会福祉充実残額の変更承認について

②日時 2019年 3月11日 午前10時00分 ~ 午前11時30分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

評議員総数7人 内 7名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

○第1号議案 2018年度の補正予算(案)の承認について

○第2号議案 2019年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認について

(3) 監事監査

2018年 6月 4日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

監事2名全員出席

審議事項

平成29年度本部・就労継続支援B型事業・居宅介護支援事業・相談支援事業・通所介護事業・収益事業の決算報告(案)、事業報告(案)と財産目録(案)、社会福祉充実計画の確認と監事監査チェックリストに沿った監査

(4) 内部監査

2018年 6月 4日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

石川 美鈴 理事

審議事項

経理規程に沿った会計処理の監査

(5) 報告事項

◎ 指導部

I. 松永作業所

〈親善行事〉

(1) 5/10、25

福山観光コンベクション協会のご招待を受けて鞆の浦観光鯛網を鑑賞した

(2) 6/3 東部親善球技大会がびんご運動公園(尾道市)で開催され

30名が参加した。

- (3) 9/16 第25回ゲタリンピックの下駄飛ばし競技等に34名が参加した。
- (4) 11/14 松永・沼隈福祉施設連絡会はなおの施設間交流会が福山市西部支所で行われたので参加した。

〈施設行事〉

- (1) 11/1・2

下関海響館、秋吉台サファリランド、(山口県)へ一泊旅行をした。

〈施設実習〉

- (1) 8/20～23 (AM)

チャレンジウィークふくやまで松永中学校1名、大成館中学校2名が体験に実習に来られた。

- (2) 9/3～8

福山大学3年生1名が介護等体験を実施した。

- (3) 10/1～5、15～19

福山福祉専門学校1年生が各期間1名で介護実習を実施した。

- (4) 11/8

大誠館中学校1年生が福祉体験学習を行った。

- (5) 2/13

県立広島大学1年生6名と担当教師2名が実習打ち合わせに来る。

〈避難訓練〉

5/15 (徳島作業所と合同)、11/21

〈自治会・クラブ活動〉

3/24 (1日作業)、 3/31 (半日作業)、 4/21 (1日作業)、
5/12、 5/19 (1日作業)、 6/2、7/7 (七夕会)、
8/25、 9/1 (ミニサマーフェスタ)、 9/29、10/13
、11/10、 2/2、

〈グループ別活動〉

4/7 (花見会)、 6/16 (1日作業)、 7/21 (1日作業)、
8/4 (仲よし球技大会祝勝会、そうめん流し大会)、 8/18
(1日作業)、 9/8 (1日作業)、 9/22 (はきもの博物館見学)、

10/6 (半日作業)、10/13、10/20 (ドライブ遠足)、
11/10、11/17 (1日作業)、12/1 (ボーリング大会)、
12/15 (1日作業)、12/22 (クリスマス会)、12/28
(大掃除、忘年会)、1/4 (初詣、初笑い会)、1/5
(軽スポレクリエーション、雑煮会)、1/19 (一日作業)、
2/16 (一日作業)、

〈職員研修〉

施設外

2/9・10

「防火管理者講習」

広島県消防設備協会

福山市生涯学習プラザ

施設長

3/5

「南部・西部ブロック会議」

福山市地域福祉貢献活動協議会

ジョイジョイワークあすか

支援員

3/13

「合同企業説明会」

福山大学

福山大学34号館

出納職員、介護職員

3/13

「第2回広島県知的障害者福祉協会総会・研修会」

広島県知的障害者福祉協会

ホテル広島ガーデンパレス

施設長

3/15

「住居確保・移行に向けて」支援ツール説明会」

福山市障害者総合支援協議会、地域生活支援部会

福山すこやかセンター
支援員

3 / 18

「福山福祉専門学校 卒業証書授与式」
福山福祉専門学校
福山ニューキャッスルホテル
統括

3 / 20

「福山市立松永小学校 卒業証書授与式」
福山市立松永小学校
福山市立松永小学校 体育館
統括

4 / 9

「福山市立松永小学校 入学式」
福山市立松永小学校
福山市立松永小学校 体育館
理事

4 / 9

「福山福祉専門学校 入学式」
福山福祉専門学校
福山ニューキャッスルホテル
施設長

4 / 16

「制度改正に伴うシステム対応勉強会」
NDソフトウェア㈱
IG石田学園ビル
出納職員2名

4 / 26

「福山市社会福祉施設連絡協議会意見交換会」

福山市障害者（児）施設連絡協議会
福山ニューキャッスルホテル
施設長

5 / 9

「三方良しの福祉」
社会福祉法人 虹の会
ジョイジョイワークあすか
生活支援員

5 / 11

「広島県知的障がい者福祉協会 福山・府中圏域会議」
広島県知的障がい者福祉協会
パレットせいわ
施設長

5 / 14

「演習ファシリテーター研修検討会」
広島県障害者支援課
広島県庁本館
施設長

5 / 15

「平成30年度 能力開発啓発セミナー」
介護労働安定センター
エム・シー福山ビル
統括

5 / 25

「広島県知的障がい者福祉協会 総会・研修会・交流会」
広島県知的障がい者福祉協会
ホテル広島ガーデンパレス
施設長

5 / 25

「新規学校卒業者を対象とする求人説明会及び採用選考説明会

並びに採用選考にかかわる人権問題研修会」

広島労働局職業安定課
協同組合 ベイタウン尾道
統括

6 / 1

「はなお職員交流会打合せ」
松永・沼隈福祉施設連絡会はなお
老人保健施設かなえ
生活支援員

6 / 5

「就労継続A型事業所の適性な事業運営に向けた指導等の検証」
広島県障害者自立支援協議会 就労支援部会
広島県庁
施設長

6 / 8

「広島県相談支援従事者研修等ワーキンググループ」
広島県 健康福祉局
広島県庁
施設長

6 / 12

「交流会打合せ」
松永・沼隈福祉施設連絡会はなお
松永作業所
生活支援員

6 / 12

「第1回総会・研修会」
広島県社会福祉法人経営者協議会
ホテルメルパルク広島
統括

6 / 20

「第1回通常総会」
広島県就労振興センター
広島県社会福祉会館
施設長

6 / 28

「第1回広島県相談支援従事者初任者研修検討会」
広島県 健康福祉局
広島県庁
施設長

6 / 29

「第1回総会」
トータルライフサポートふくやま
福山すこやかセンター
施設長

7 / 6

「福山市担当局部課との意見交換会・懇親会」
福山市障害者（児）施設連絡協議会
福山ニューキャッスルホテル
施設長

7 / 10

「非正規労働者の雇用管理」
広島県・今治市雇用労働相談センター
広島県民文化センターふくやま
主任出納職員

7 / 19

「企業経営者勉強会」
広島県働き方改革推進・働く女性応援課
福山商工会議所102会議室
統括

7 / 26

「施設長・管理者研修会」
広島県知的障害者福祉協会
広島県社会福祉会館 会議室
施設長

8 / 2

「就労継続A型事業所の適性な事業運営に向けた指導等の検証」
広島県障害者自立支援協議会 就労支援部会
福山市役所 本庁舎
施設長

8 / 3

「介護実習 I 打ち合わせ会」
福山福祉専門学校
福山福祉専門学校
施設長

8 / 8

「平成30年度 社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）」
広島県社会福祉法人経営者協議会
広島県社会福祉会館
統括

8 / 20

「広島県知的障害者福祉協会 福山・府中圏域会議」
広島県知的障害者福祉協会 福山・府中保健福祉圏域
福山すこやかセンター
施設長

8 / 22

「第50回消防競技大会 事前説明会」
福山地区消防組合西消防署
消防合同庁舎
主任出納職員、出納職員

8 / 28

「就労継続A型事業者研修会」
福山市障害福祉課
福山市ものづくり交流館
施設長

8 / 29

「食品衛生責任者養成講習会」
福山食品衛生協会
福山すこやかセンター
施設長

8 / 30

「ネットワーク会議」
福山市障害者総合支援協議会
エフピコR i Mふくやま
施設長

9 / 6

「第50回消防競技大会 事前練習会」
福山地区消防組合西消防署
機織南公園
主任出納職員、出納職員

9 / 14

「就労継続A型事業所の適性な事業運営に向けた指導等の検証」
広島県障害者自立支援協議会 就労支援部会
広島県庁本館
施設長

9 / 19

「合同企業説明会」
福山大学
福山大学 大学会館1階
出納職員、介護職員

9 / 19・20

「広島県サービス管理責任者等フォローアップ研修」

広島県

広島工業大学専門学校

施設長

9 / 25

「広島県相談支援従事者初任者研修の実施に係る

演習ファシリテーター研修」

広島県 健康福祉局

広島市まちづくり市民交流プラザ

施設長

9 / 26

「福山・府中圏域支援スタッフ部会」

広島県知的障がい者福祉協会

大日学園

生活支援員

9 / 26

「地域支援部会会議・研修会」

広島県知的障害者福祉協会 地域支援部会

福山すこやかセンター

施設長

9 / 28

「安全運転管理者講習」

広島県公安委員会

広島県東部運転免許センター

統括

9 / 28

「感染症予防対策に係る説明会」

福山市介護保険課

広島県民文化センターふくやま

生活支援員

10 / 3

「第50回消防競技大会」
福山地区消防組合
芦田川運動公園
主任出納職員、出納職員

10 / 9

「就労継続A型事業所の適性な事業運営に向けた指導等の検証」
広島県障害者自立支援協議会 就労支援部会
広島県庁本館
施設長

10 / 16

「第2回合同施設長会」
広島県知的障害者福祉協会
生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会
福山市西部市民センター
施設長

10 / 28

「第44回広島県知的障害者福祉大会」
広島県手をつなぐ育成会
福山市神辺文化会館
施設長、生活指導員

10 / 29

「広島県相談支援従事者初任者研修の講師派遣」
広島県 健康福祉局
ビッグローズ
施設長

11 / 8

「説明・説得能力向上研修」
広島県社会福祉協議会
広島県社会福祉会館 講堂
統括

11/13

「福山市社会福祉協議会法人化50周年記念式典」

福山市社会福祉協議会

ふくやま芸術文化ホール

施設長

11/13・14

「監事専門講座」

全国社会福祉法人経営者協議会

TOC有明コンベンションホール

統括

11/15・16

「防火管理者講習」

広島県消防設備協会

ベイタウン尾道

生活支援員

11/29

「セーフティドライブ実践塾」

福山西安全運転管理協議会

芦田川自動車学校

統括、生活支援員

2/2

「2018年度 就労支援部会シンポジウム」

福山市障がい者総合支援協議会

福山すこやかセンター

生活支援員

2/14、15

「平成30年度広島県相談支援従事者研修等講師養成研修」

広島県

広島市医師会館

管理者

2/20

「2018年度 就労支援部会シンポジウム」

広島県社会福祉協議会

県民文化センターふくやま

出納職員

2/26

「実習施設等連絡協議会」

福山平成大学

福山平成大学 3203 教室

管理者

II. 徳島作業所

〈親善行事〉

5/10

福山観光コンベクション協会のご招待を受けて鞆の浦観光鯛網を鑑賞した

〈施設行事〉

11/1・2

下関海響館、秋吉台サファリランド、(山口県) へ一泊旅行をした。

〈避難訓練〉

5/15 (松永作業所と合同)、11/21

〈自治会・クラブ活動〉

6/16 (1日作業)、 7/ 7 (1日作業)、 7/21 (1日作業)、
8/ 4 (お楽しみ会)、 8/18 (1日作業)、 8/25 (1日作業)、
9/15 (半日作業)、 9/22 (半日作業)、 9/29 (半日作業)、
10/ 6 (半日作業)、10/20 (1日作業)、11/10 (城見学)、
11/17 (半日作業)、12/ 1 (半日作業)、12/15 (1日作業)

〈グループ別活動〉

12/22 (調理実習)、12/28 (忘年会)、 1/ 5 (初詣)、
1/12・19 (半日作業)、 2/ 2 (半日作業)、 2/16
(誕生日会)、

〈職員研修〉

施設外

3 / 26

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県健康福祉局障害者支援課

福山市まなびの館ローズコム

管理者

3 / 26

「第2回研修会・第2回ネットワーク会議」

福山市障害者総合支援協議会

エフピコ Rim ふくやま

サービス管理責任者

4 / 23

「就労継続支援A型事業所経営改善実態調査説明会

及び生産力向上セミナー」

福山市障害福祉課

福山市まなびの館ローズコム

管理者

5 / 11

「福山市地域福祉貢献活動協議会 研修会」

福山市地域福祉貢献活動協議会

福山労働会館 みやび

管理者

5 / 19

「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定と

今後の精神保健福祉の動向」

広島県精神障害者支援事業所連絡会

広島市南区地域福祉センター

管理者

6 / 8

「第2回総会」

福山市地域福祉貢献活動協議会

福山労働会館みやび

管理者

6 / 18

「社会福祉施設「防災安全研修」」

広島県社会福祉協議会

広島市総合防災センター

管理者

7 / 5

「南・西ブロック会議」

福山市地域福祉貢献活動協議会

福山市沼隈サンパル

管理者

7 / 6

「うつ病の理解を深めよう」

福山市保健所

エフピコRIM

管理者

9 / 19・21・26

「就業支援基礎研修」

高齢・障害・求職者雇用支援機構

広島市総合福祉センター

管理者

9 / 28

「地域リハビリテーション研修会」

医療法人健応会

学びの館ローズコム

管理者

10/16

「うつ病の理解を深めよう」

福山市保健所

エフピコR i M

管理者

11/15

「人権擁護研修「障害施設編」」

広島県社会福祉協議会

広島県社会福祉会館

管理者

12/14

「民間支援者等地域連携推進会議」

広島保護観察所

福山法務合同庁舎

管理者

2/8

「地域支援部会会議・研修会」

広島県知的障害者福祉協会

福山すこやかセンター

管理者

2/22

「福山市障がい者就労支援強化事業に関する説明会」

福山市障がい福祉課

福山すこやかセンター

管理者

Ⅲ. まつなが総合生活支援センター さぼーと

〈親善行事〉

2/19、22、26

デイサービスセンターさぼーとで松永小学校5年生3クラスと交流会を行った。

〈施設行事〉

- 11/22 デイサービスセンターさぼーとでつむぎ動物病院の協力によりアニマルセラピーを実施した。

〈避難訓練〉

5/18

〈地域交流〉

- (1) ほたるカフェ（本郷公民館）

5/16、6/20、7/18、

- (2) 7/10～20

7/6の豪雨災害による被災者のためにデイサービスセンターさぼーとの入浴設備を17:30～21:30の時間で一般開放した。

(別紙参照)

〈施設実習〉

- (1) 8/21～23 (AM)

チャレンジウィークふくやまで松永中学校2名が体験に実習に来られた。

〈デイ運営推進会議〉

- (1) 9/21 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。

- (2) 3/22 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。

〈職員研修〉

施設外

2/2

「医療介護連携のための

退院調整状況調査及び退院後生活状況調査結果報告会」

広島県地域包括支援推進センター

広島県福山庁舎

ケアマネ

3/2

「高齢者福祉施設防火実務研修会」

福山市西防火協会

福山市西消防署
介護職員

3 / 6

「医療知識研修」
広島県介護支援専門員協会
広島県健康福祉センター
ケアマネ

3 / 6

「第1回ワーキンググループ会議」
広島県障害者自立支援協議会
広島県庁本館4階
管理者

3 / 12

「広島県相談支援従事者等の実施に係る検討会」
広島県健康福祉局障害者支援課
東広島市市民文化センター
管理者

3 / 16

「介護サービス事業者説明会」
福山市介護保険課
ふくやま芸術文化ホール
デイ管理者、ケアマネ

4 / 17

「松永沼隈福祉連絡会はなお 総会」
松永沼隈福祉連絡会はなお
老人保健施設かなえ
介護職員

6 / 12

「交流会打合せ」
松永・沼隈福祉施設連絡会はなお

就労継続B型事業所 松永作業所
生活相談員

8 / 2・3

「防火管理講習」
広島県消防設備協会
福山市生涯学習プラザ
生活相談員

8 / 6

「健康経営セミナー」
全国健康保険協会 広島支部
就労継続B型事業所 松永作業所
生活相談員

8 / 8

「高齢者救急搬送説明会」
福山・府中地域保健対策協議会
福山すこやかセンター
介護職員

8 / 28

「自立支援型地域ケア会議 介護サービス事業者説明会」
福山市高齢者支援課・介護保険課
広島県民文化センター
デイ管理者

9 / 28

「感染症予防対策に係る説明会」
福山市介護保険課
広島県民文化センターふくやま
デイ管理者

10 / 10

「第4回福祉新聞フォーラム」
福祉新聞社

東京ビッグサイト
介護職員

10/15・16

「初級リスクマネジャー養成講座2018」
全国社会福祉法人経営者協議会
TFTビル東館
介護職員

11/9

「相談支援研修」
広島県知的障害者福祉協会 相談支援部会
福山市ものづくり交流館
管理者

IV. デイサービスセンター みらくる

〈施設実習〉

8/20～23 (AM)

チャレンジウィークふくやまで大成館中学校2名が体験に実習に
来られた。

〈運営推進会議〉

(1) 3/14 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。

(2) 9/14 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。

〈避難訓練〉

6/15、11/29

〈地域交流〉

ほたるカフェ (本郷公民館)

5/16、7/18、

〈お出かけ〉

・ 3/3

ひな祭り典 足あとスクエア見学
利用者7名

〈職員研修〉

施設外

3 / 16

「介護サービス事業者説明会」

福山市介護保険課

ふくやま芸術文化ホール

管理者

9 / 28

「感染症予防対策に係る説明会」

福山市介護保険課

広島県民文化センターふくやま

管理者

10 / 3

「介護ロボット導入・活用セミナー」

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会

広島県社会福祉会館

管理者

V. グループホームびすけっと（5 / 1スタート）

〈避難訓練〉

5 / 22（福山西消防署立ち合い）、11 / 26

〈職員研修〉

施設外

9 / 3・4

「全国グループホーム等研修会」

日本知的障害者福祉協会

ひめぎんホール（愛媛県松山市）

生活支援員

11 / 15～16

「第56回全国知的障害者福祉関係職員研究大会 山口大会」

全国知的障害者福祉協会

山口市民会館

生活支援員

◎事務部

〈事務処理〉

- 2 / 2 居宅介護支援事業所さぼーにて12 / 5おこなわれた福山市高齢者福祉課のケアプラン点検の結果報告書が届いた。(別紙)
- 3 / 2 6 松永作業所にパートタイム職員(職業指導員)1名を採用した。
- 3 / 3 1 徳島作業所のパートタイム職員(職業指導員)1名が退職した。
- 3 / 3 1 徳島作業所の臨時職員(職業指導員)1名が退職した。
- 4 / 1 松永作業所の正規職員(生活支援員)として1名を採用した。
- 4 / 1 徳島作業所の臨時職員(職業指導員)として1名を採用した。
- 4 / 1 釜田守税理士事務所と打ち合わせをして、勘定科目の中区分と小区分の名称を次のように変更した。

① 資金収支計算書勘定科目の小区分

- 県互助会退職預け金運用収入 → 県互助会退職給付引当資産差益
- 県互助会退職預け金運用支出 → 県互助会退職給付資産支出
- 県互助会退職預け金戻入収入 → 県互助会退職給付引当資産取崩収入

② 事業活動計算書勘定科目の中区分

その他の収益

- 外部積立資産取崩収益 → 退職給付積立金差益
- 外部積立資産運用収益 → 退職給付積立金差益

その他の費用

- 外部積立資産取崩 → 退職給付積立金差損
- 外部積立資産運用収益 → 退職給付積立金差損

- 4 / 5 福山労働基準監督署へ36協定書、就業規則等を提出した。
- 4 / 6 会社見学を行い福山大学4年生1名が参加してくださった。
- 5 / 1 徳島作業所の臨時職員(職業指導員)として1名を採用した。
- 5 / 1 松永作業所の臨時職員(職業指導員)として1名を異動した。
- 5 / 2 2・2 9
松永作業所2名の新人職員を対象に事務研修を実施した。
- 6 / 4 監事2名による業務と会計監査が行われた。
- 6 / 4 内部監査人の理事石川美鈴氏による内部調査が行われた。
- 6 / 1 1 健全な法人運営のためには、理事長として、利用者はもとより法人・事業所・職員のために様々な経営のリスクに対策を講じる必要があると考え、別紙資料の保険に加入することの審議を行った。満場一致で承認可決した。

- 6 / 1 デイサービスセンターさぼーとで看護師1名をパート職員として来年3月31日まで採用した。
- 6 / 15 公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会福山協会より車いす5台の寄付を受けた。
- 6 / 29・30
松永作業所の老朽化による厨房水道工事をおこなった。
- 6 / 27 中国労働衛生協会による定期健康診断に職員が受診した。
- 7 / 14 わいわいフェスタは7 / 6の豪雨災害で被害にあわれた方に対して、デイさぼーとの入浴設備を10日より一般開放して支援を行うために実施を中止した。
- 8 / 2 福山市福祉総務課より今年度の社会福祉法人指導監査は実施しない通知が届いた。(別紙参照)
- 8 / 10 公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会福山協会の7名の役員立ち合いのもと車いす5台の贈呈式を松永作業所で行った。
- 8 / 28 8 / 22付けで福山市より7 / 6豪雨災害義援金の承認が降りたので、広島県共同募金会の平成30年7月広島県豪雨災害義援金に5万円を入金した。(別紙参照)
- 9 / 27 福山市障害福祉課へ共同生活援助施設設備整備補助金の申請書類を提出した。
- 11 / 2 福山市において共同生活援助施設設備整備事業の面接審査に理事長が出席した。
- 11 / 17 デイサービスセンターみらくるの介護職員1名が出産で小池病院に緊急入院した。
- 11 / 20 デイサービスセンターさぼーとの介護職員1名をデイサービスセンターみらくるの所属に変更した
- 11 / 28 デイサービスセンターさぼーとで週2日(水・土曜日)勤務の介護職員として1名をパート職員として採用した。
- 12 / 17 広島県仕事と家庭の両立支援企業に登録しており、職員が家で子供の面倒を見なければいけない方に対して、子供を仕事場に連れてきて仕事をしていただく対応を取ることとする。ただし、事業に影響を及ぼさない範囲で認める。の井出和人理事長より具体的な説明があり、詳細に検討した結果、満場一致で承認可決した。
- 12 / 8 自立支援型共生ホームにて毎週土曜日に環境整備兼福祉助手として高校生2名のアルバイトを採用した。

- 12/21 デイサービスセンターみらくるの介護職員1名が産前産後休暇を取得した。
- 1/9 松永作業所にて軽車両1台を17万円にて来山自動車より購入した。
- 2/27 共同生活援助施設設備整備事業の社会福祉施設等施設整備費国庫補助協議資料を福山市障害福祉課へ提出した。

〈保護者会〉

- 4/7 保護者定例会が行われた。
- 6/2 保護者定例会が行われた。
- 9/1 保護者定例会が行われた。
- 9/29 保護者臨時定例会が行われた。
- 11/10 保護者定例会が行われた。

〈監事会〉

- 12/17 理事会終了後、理事長より11/13・14に行われた「監事専門講座」の報告会を行った。それにもとづいて今年度の監事監査について打ち合わせをし、広島県が出す監査チェックリストをもとに実施することとなった。また、チェックリストはあらかじめ理事長や事務局でチェックを行い、確認すべき個所を何点か挙げてもらいそこを重点的にチェックしていく方向で打ち合わせる。

〈理事長職務執行状況〉

別紙参照

松永作業所

平成30年度事業報告

年度当初47名（定員40名）でスタート。年度中、新規契約4名、終了契約5名、年間平均利用率（契約者総数に対しての出席率）は87%、1日利用者平均41.2名、月延べ平均934人であり、出席率85%以上をキープできた。その要因の一つとして長期欠席者の欠席原因や来所促進のニーズ調査と共に継続した通所への働きかけが挙げられる。引き続き、出席率の低い土曜の活動内容（グループ別活動、クラブ活動など）をニーズに応じて見直しを図り、利用率アップを目指していく。

送迎については対象者が年度当初19名であったが、31年2月からは22名となり年度当初減額改訂となった送迎加算が倍増した。引き続き、自力通所の必要性を説きながら送迎を実施していく。

利用者支援においては、就労支援を根幹におき、利用者本人・家族のニーズに沿った社会的自立と自己実現に向けて取り組み、年度末には一般就労者2名を出すことができた。今後就労定着に向けての職場訪問などを実施しながら、次なる就労者を養成する「就労支援セミナー」を実施していく。

就労活動としては、年間の就労収入は約620万円で、前年に比べ約100万円減少。昨年度収入の2割を占めた外作業の激減分がそのまま影響したが、昨年度並みの平均月額工賃10,909円を確保できた。本年度の報酬改正で平均月額工賃に応じた報酬設定となったが、来年度も同等の報酬を得る事ができる。また、本年度、3社の取引が終了したが新たに1社と取引が始まり追加作業の受注も見込まれる。自主作業の菓子製造を再開して作業所・法人事業所内、西部支所での販売額が徐々に上昇しており、受注先の影響を受けずに作業できる強みを生かして、来年度の収入増を目指す。

グループ別活動での調理実習や作業後の清掃・洗濯など地域生活力の向上のための活動を行い、自信と意欲が高まった利用者も増えた。

季節に応じた行事や忘年会、山口・萩方面への一泊旅行など様々な生活体験機会を増やし、自信と積極性の育成など、多くの成果につながった。

松永小・中学校との交流会や体験実習、ゲタリンピックなどの地域交流行事により、知的障害者に対する地域の方々の認知・理解への一助になったと思われる。今後も地域の社会資源・福祉拠点となるよう、諸機関・諸団体との交流・連携を深めていく。

研修については内部では定期的には実施したが、外部研修に参加できる機会が少なかったため、今後は参加しやすい体制をとりながら、さらに充実した研修を行っていく。

今後も利用者・職員が協力しながら意欲的に作業に取り組める環境を作り、利用者が様々な体験の機会を得られるように努めていく。

2018年度 徳島作業所 事業報告

新体制になり、慣れない中で手さぐりの状態ではあったが、体制の変化が利用者の体調に影響しないよう配慮しながらスタートした。

新体制1年目として、利用人数の増加、新規利用者の獲得、土曜日の日課設定等を重点課題として取り組んだ。2018年度の契約人数としては、2017年度契約人数のうち3名解約（利用が見込めないため）、新規利用者4名（うち1名は松永作業所からの編入）が増加し契約人数は21名となった。利用人数のついては、まず既存の長期欠席利用者への訪問等を通して利用再開のアプローチを行い、利用再開、利用定着の支援を行った。長期欠席者の利用再開や新規利用者の継続利用などで利用人数としては2017年度2,681人に対して2018年度は2,984人と、対前年比111%増で月平均25人の増加となった。また、平日に比べて土曜日の利用人数が少ないことへの対策として、1日作業、半日作業、行事等の出欠のデータ取りを行い、より利用者が多い形態での開所を心がけた。2017年度の土曜日の平均利用人数が6.4人だったのに対し、2018年度は8.1人と利用人数は多くなったが、平日の平均と比べると依然少ない状況なので、今後も利用人数が増えるような行事等の企画を行っていききたい。新規利用者獲得については、各種会議や意見交換会等に参加し情報収集や事業所アピールを行ったことで、他相談支援事業所からの問い合わせは増加したが契約には至っていない。今後も相談支援事業所さぼーと含め他の事業所と連携し、受け入れ窓口を広く持っておきたい。

2018年度の授産活動収入は約2,170,000円で、対前年比で109%増、支払い工賃は約1,310,000円で対前年比101%増であった。新たに室外作業が2件増えたこと、売店利益が前年比182%増えたことなどが増収の要因であると考えられる。実質平均工賃に関しては支払人数が増加したことにより7,300円で対前年比10%減という結果になった。なお、福山市に提出する平均工賃の計算方法が変更になったことにより、平均工賃月額区分が5から6に変更になり、来年度の基本報酬が5,860円から5,740円に減額されることになった。現状、月平均工賃が1万円以上は難しいように思われるので、減額分は利用人数アップによって補っていくよう対策を講じる。具体策として、年2回のボーナス規定を現状の5,000円の出席日数ベースを10,000円の作業時間ベースに変更し、より長く作業所を利用することで配当が大きくなるよう改定し、利用人数の増加を目指す。

今年度は報酬面で減収が予想されるので、その分を利用人数でカバーできる様、各利用者の居場所として、また仕事をすることに喜びを感じる事ができ、利用する価値がある作業所として利用者の生活の一部になれるよう日々の業務にあたっていく。

平成 30 年度 相談支援事業所さぼーと事業報告

1. 契約者について

年度当初、176名であった利用者は16名のサービスの中止や介護保険への移行などがあり、13名と新規契約を結んだものの、年度末には173名となった。

2. 計画相談支援業務について

計画相談の一連の流れの中で、サービス等利用計画案を提出後、入院したままのケースや受給者証の発行が確認できないケース、意見書の未提出などにより受給者証発行が遅れてしまうケースなどにより、更新や計画相談給付費の請求が2, 3ヶ月ずれてしまう事が多々見られた。

65才を迎え、介護保険サービスに移行していくケースに関しては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）と連携し、利用者に負担・不安のないように配慮した。

3. 来年度について

モニタリング実施標準期間や報酬体系の変更により、きめ細かい対応が必要となるケースが増えていく事が想定されるが、関係機関との連携を継続しながら支援を行っていく。

また改めて本人の家族等の状況把握に努めるとともに、一人暮らしで食生活などに支援が必要な利用者に対して、居宅支援（ヘルパー）の導入を促したり居住先の情報提供などを実施していく。

2018年度 グループホームびすけっと 事業報告

開設して2期目として、前年よりは少しゆとりを持って業務が行えたように感じている。

定員、利用者等に変更はなく、利用者自身も生活に慣れ前年度に比べて、各自洗濯や掃除等も問題なく行えている。日課等に関しては利用者のニーズに合わせる形で多少の修正はあったが、大きな変更等はなく行えている。また世話人の業務内容についても大きな変更点はなく、日常生活の中で出てくる困り事や利用者同士のトラブル等についてはその都度対応にあたり解決をしてきている。日常業務での連絡や引き継ぎ事項に関しては、引き継ぎノートを利用するなどしてスムーズに行えていたように思われる。また、毎月の世話人会議を通して職員同士の意思疎通を図り、利用者の現状報告や今後の対応についての情報共有の徹底も行った。7月の豪雨や地震等の自然災害を受けて、再度災害マニュアルを作成し年2回の避難訓練の充実を図り、また、世話人等が不在の夜間を想定した夜間避難訓練を実施し、利用者の防災意識の徹底を図った。地域との関わりについては、近隣住民との大きなトラブル等もなく、また、前年同様町内会の各行事等への参加も行っている。グループホーム内での行事等については、各利用者の誕生日会や節分、クリスマス等季節を感じることができる行事を行い、利用者同士のコミュニケーションが図れる場を提供している。

前年同様に、日常生活での利用者同士のトラブル等はあったが、大きな事故や怪我、病気等もなく1年を過ごすことができている。今後の課題としては、利用者の高齢化に伴う夜間等緊急時の対応や有事の際の対応がスムーズに行うことができるよう各種マニュアルの充実を図っていく必要がある。

平成30年度居宅介護支援事業所さぼーと事業報告

1. 居宅介護支援について

I. 登録者及び給付管理

本年度はケアマネ2名（常勤1名、非常勤1名）で、常勤換算1.3人の体制で実施。3月末の登録（契約）者数は要介護者34名、給付管理者数は31名、要支援者16名、給付管理者数は15名となっている。1年を通じて死亡、入所等で終了者が9名となったが、新規利用者も9名あった。

II. 居宅介護支援業務等について

本年度も独居に加え生活困窮している利用者を支援する為、包括支援センターや行政、社会福祉協議会などの関係機関と連携し支援を実施した。これは国の推進する「地域包括ケアシステム」とも重なっており、利用者が地域で生きていく一助として居宅介護支援を実施した。

2. 介護予防について

積極的に包括主催の研修や地域ケア会議に参加していき、包括職員や地域の民生委員と連携を深め、積極的に予防プランを受託し、地域の中での役割を果たせるよう努力した。その中で包括支援センターより新たな要支援者、要介護者の紹介を受けた。

3. 来年度について

総合事業も完全実施となり、「地域包括ケアシステム」の構築に向け、より一層、地域での役割は重責化する。包括支援センター、関係機関、関係事業所、地域などとの連絡・連携を深め、高齢者が地域で長く生活してもらうために、しっかりとした居宅介護支援を実施していく。

平成30年度 デイサービスセンターさぽーと 事業報告

◎ 事業の目的に対して

利用者・家族の望む生活の実現に向けて居宅サービス計画書をもとに地域での生活が維持出来るよう、生活意欲の向上を念頭にニーズの把握、残存能力の維持・向上に努めた。

利用者本位の介護・看護を実施するとともに、家族・居宅との連携を行うよう努めた。

◎ 利用者の推移

契約者数 28 人（平成 31 年 3 月時点）。長期間さぽーとを利用されていた方や月の利用回数の多い方が死亡、入所されるケースが多くみられた。特に、夏の大雨災害後の入所率は高く推移した。1 日 16 名～17 名の利用人数の目標をかかっていたが、月の利用者平均は達成できておらず、14.8 人/日（4 月）が最高数となった。

◎ サービスの内容について

定員 18 人という小規模という特性を生かし、地域で生活できるように本人・家族のニーズに応えられるように努めた。入浴の時間、トイレへの誘導、レクリエーションへの参加などでは、個々の状態に合わせ、個別な対応ができるよう努めた。また、季節感が感じられるよう外出の行事を実施していった。

◎ 来年度に向けて

利用者・家族に満足していただき、地域に信頼される事業所となれるよう、引き続き誠実な対応およびサービスの提供に努める。月の延べ人数を 310 前後を目標とし、個々の地域密着型通所介護計画に基づいた利用者個人を尊重したきめ細やかな対応を心掛ける。また、定期的な研修や会議を開催し、職員の資質の向上やサービスの質の向上や情報の共有に努める。

地域密着運営推進会議を年 2 回（9 月・3 月）開催する。地域の方・民生委員・利用者・家族・市職員 西南部包括支援センター職員等に参加していただき、情報の開示を行い、助言などをいただきながら地域に根ざした事業所を運営を実施していく。

平成 30 年度

デイサービスセンターみらくる

事業報告

職員体制の変更はあったものの基本、生活相談員兼介護職員 2 名、介護職員 2 名、機能訓練指導員 2 名（介護職員と兼務が 1 名）という配置で行いました。定員は引き続き 10 名であった。

4 月は月述べ利用 134 人からのスタートとなり、30 年度は新規の利用者が 5 名であったが年度末に 1 名利用終了となった。また在宅生活が困難となり入院、ロングショート利用者が増えた。今年度は冬場になっての体調不良などによるお休みの方は少なく安定していた。30 年度も前年度と同様に定員 10 人に対し利用率 80%＝1 日利用平均 8 人、一月当たり利用延人数 160 人を目標としたが、月述べ利用 160 人という目標を成すことができたのは 7、3 月のみであった。

今年度も当日キャンセルに対し、弁当代 410 円を利用者負担として頂くよう調整していたが、お知らせを事前にご家族にお渡ししていたこともあり、当日キャンセル代を頂くことは少なかった。より良い昼食を提供できるように弁当業者も増やしていくよう視野に入れている。

他の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携では、今後も密に連絡のやり取りを行い、信頼関係を築いていきたい。

また、30 年度も運営推進会議を年二回（9 月、3 月）開催している。地域の方や民生委員、利用者家族に参加して頂け、地域や家族へ開かれた事業所として来年度も運営していきたい。また、たくさんの地域の方にみらくるの事を知って頂くためにも出来るだけ活動していきたい。

職員体制では、人欠に対し補充が必要な曜日もあり、みらくる内で調整してきたが、今後デイサービスセンターさぼーととの連携を密にして、早めの対応と協力体制で不安の軽減と人員配置厳守に留意することが来年度も必要である。

平成30年度 自立支援型共生ホームさぼーと事業報告

1. 状況報告

4月は満室であったが、死亡のため7月に1名、転居のため8月に1名退去された。31年2月に1名の入居があり、現在1室の空きがある状態となっている。

2. 既入居者に対して

2月に入居された高齢者は要介護1であり、週3回の透析を実施しているが、身の回りの事については自立されていてホームでの生活は実施できている。

その他の入居者については、変わりなく過ごされている。ホーム内では生活上のトラブル・困り事もあまり見られなかった。

3. 清掃業務について

パート職員及び松永作業所メンバーによる週に数回の中庭やベランダ洗浄、共有スペースや浴室、ゴミ箱管理など業務分担にて清掃を実施。4Sチェックリストを基本に別のリストを使って日々の業務を実施してもらっている。

4. 来年度に向けて

各関係機関にホームについて情報提供を行い、入居待機者の確保ができるよう普段から取り組んでいく。